

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月28日

事業所名:シルビアンスポレクセンター真地

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1		・運動室の他にも、着脱や集中して学習が行える個室もあり十分なスペースを多目的に使用しています。	それぞれの場所で、できるだけ児童がのびのびと活動ができるようにしている。
	2	職員の配置数は適切である	7			・法令で必要とされている配置数を確保しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1	1	・大きな段差がない為施設への出入りもスムーズにでき活動も行いやすい。	段差はないが、手すりなどは未設置。車椅子や、歩行が不安定な利用児童がいないため、実際には使い勝手がどうかは不明。対象の児童が利用することになれば、対応していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2	2	・職員間での毎日のミーティングや定期的な会議で業務改正について話し合う機会を設けています。	PDCAサイクルを常に意識しているかといえばそうではないので、今後は業務に対して意識できるようにしていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1			保護者からの意見をもとに、会社内でも話をして、業務改善、支援の内容の更なる向上を目指していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2	1		公表結果を、保護者にも伝わるようにしていく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1	5		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	1	・コロナ禍の為、少人数で実施しています。	初任者研修や、新入社員研修には力を入れています。今後も継続していきます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	2		・子供と保護者のニーズの聞き取り、状況把握に努めています。また、相談支援事業所からサービス等利用計画書を提出していただき、情報収集や課題分析をした上で支援計画書を作成しています。	相談支援事業所から、相談支援の計画書をもらえないことがあるので、積極的に保護者や事業所と連携して、もらえるようにしていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	1	・前年度のプログラムや行事を参考にしながらチームで案を出し合い活動プログラムを計画しています。	今後は、どの職員でもプログラムの内容を決定できるように、会議や研修を通じて能力の向上に努めていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2	1	・室内、屋内、交流、調理など様々な活動内容を計画し実行しています。療育内容以外では季節に合わせた行事や活動を取り入れています。	

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	3	2	・長期休暇や休日は活動時間が長くなるため、普段の学校登校日にはできない散歩や公園での運動など施設外での活動や学校からの宿題を行う時間を設けています。	下校が遅く、利用時間が短い児童の場合には、細かい支援の設定ができない場合があるので、保護者と相談しながら、本人にとってより良い支援ができるようにしていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	3		・子どもの状況ニーズに合わせて、個別活動と集団活動を計画しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	4		・毎日、支援開始前に職員間でのミーティングを設けています。支援内容や役割分担、必要となる伝達を行っています。参加できない職員にもLINEや個別での口頭伝達を行っています。	祝日や学校や休みの日など、午前中から児童が利用する日は、会議ができないことがあるので、5分でもいいので打合せができる時間を作っていきたいと思っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	4		・毎日、支援終了後に職員間でミーティングをもち支援の振り返りを行っています。ヒヤリハットや気付いた点などを共有し合い日々の支援改善に努めています。	祝日や学校や休みの日など、午前中から児童が利用する日は、会議ができないことがあるので、5分でもいいので打合せができる時間を作っていきたいと思っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	2	1	・毎日、支援終了後に記録を取り、職員間で情報を共有し支援に繋げています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	1		・定期的にモニタリングを行い、利用者の状況やニーズに合わせて見直しを行っています。	・モニタリングや計画の変更がある場合には、遅延することなく対応していきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	2	3	2	・ガイドラインに沿った活動を心掛けています。	全職員が、ガイドラインを確認し、その基本活動に沿って支援をしていくようにします。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			・事前に事業所内職員で意見や情報共有を行い、意見をまとめ管理者が会議に参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	1	1	・学校送迎の際の申し送りや担当者会議などで情報共有をしています。また、保護者とも連携を取りながら学校行事や下校時間の確認などを行っています。	一部の児童の先生とは、上手く連携がとれていないこともあるので、今後はそのような先生とも連携ができるように、積極的に関わっていききたいです。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	2	2		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2	1	・現在、保護者や相談支援専門員からの情報共有で相互理解に努めています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	2		・支援会議や保護者を通して支援内容等の情報共有を行っています。	
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	1	5		今後は、発達支援センターなどの専門機関と連携がとれたり、研修を受けことができるよう体制を整えていきます	

	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1		6	・コロナ禍の為自粛しています。	コロナが収束したら、積極的に活動をしていきたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		2	5		いつでもどこであるかを把握して、参加ができないか協議会に連絡をしていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7				・送迎の際や電話連絡などで子どもの状況や課題等の情報交換を行っています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2	1	・家庭で出来る支援方法の助言を行っています。ニーズに合わせた支援ができるように心掛けています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			・契約時に重要事項説明書と利用契約書に記載されている項目に沿って丁寧な説明を行っています。保護者からの疑問や質問等があればその都度で丁寧な説明を心がけています。	丁寧に説明しているつもりでも、保護者が理解できていない部分や、忘れることもあるので、その都度説明しています。特に利用者負担に関しては、全部理解するのが難しいと思う部分があります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			・子育て相談に対して傾聴し、一緒に考え支援に努めています。必要に応じて支援方法のお助言も行っていきます。	相談するようにしていますが、不登校など少し難しい問題や課題も出てきています。適切なアドバイスができるように、職員間の情報共有や、勉強会をしていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	2	4		コロナが収束したら、保護者に開催の有無などの意見を確認していきたいと思っています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			・苦情があった場合は迅速かつ適切に対応し、職員間での情報、意見共有も行っていきます。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			・毎月、予約表で保護者に活動内容や行事予定をお知らせしています。また、毎月通信を発行し保護者への活動報告も行っていきます。	毎月、事業所の通信(新聞)を発行していますが、継続して発行していきます。内容も偏らないように、保護者や関係機関に配布しています。
	35	個人情報に十分注意している	7			・個人情報は職員のみが出入りできる場所に保管しています。また、年に一度個人情報についての研修を行っています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1		・分かりやすく丁寧な伝達を心掛けています。絵カードや写真も必要に応じて取り入れていきます。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	4	・コロナ禍の為事業所外との交流を自粛しています。	コロナが収束したら、色々な行事を開催して、地域にもお知らせしていきます。
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	2		
39		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1		・年に2回災害の発生に備え、利用者を含めた避難訓練を行っています。	
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1		・職員間での研修を行い利用者への虐待防止に努めています。また、利用者への家庭内暴力があった場合に適切な対応がとれるよう努めています。	
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2	1		身体拘束が必要な場面や、対象の児童が出てきた場合には速やかに対応し、事業所や保護者と連携していきます。
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2		・契約時に保護者へアレルギーの有無を確認しています。必要に応じて保護者より情報提供をもらい適切な対応を行っています。	

	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			・毎日、支援終了後のミーティングでヒヤリハットに関する情報共有も行っています。記録し、ファイルを作成しています。
--	---------------------------------	---	--	--	--